

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催費補助金（ぎふ美術展）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局文化創造課文化創造係 電話番号：058-272-1111(内 2467)

E-mail：[c11146@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11146@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 38,956 千円（前年度予算額：4,792 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,792	0	0	0	0	0	0	0	4,792
要求額	38,956	0	0	0	0	0	0	0	38,956
決定額									

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

美術に親しむ県民の裾野の拡大、県民の創造力、鑑賞力の向上に寄与、創作活動に励む県民に広く発表の機会を提供するため、令和3年度8月に「第3回ぎふ美術展」を開催する。

### （2）事業内容

「ぎふ美術展」の運営及び広報のため、事業実施主体の（公財）岐阜県教育文化財団に補助を行う。

### （3）県負担・補助率の考え方

県文化振興指針の趣旨に基づき開催するもので、全額県負担とする。

### （4）類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
補助金	38,956	ぎふ美術展の実施
合計	38,956	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

①「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

#### (2) 国、他県の状況

本県を除く43道県において一般的に「県展」と言われる美術公募展を実施しており、うち37県では主催または助成を行うなどの形で、県が大きく関わっている。

#### (3) 後年度の財政負担

令和元年度開催の第2回ぎふ美術展と同様に、今後も県補助金（10/10）により事業実施していく。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	清流の国ぎふ芸術祭開催費補助金（ぎふ美術展）
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	（目的）文化活動への参加及び創造を促進する （内容）「ぎふ美術展」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・ <b>その他</b> （内容）県10/10 （理由）県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期3年度 （理由）社会情勢等を踏まえ、継続・廃止等の判断を行う。

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加、また、新たな文化の創造及び地域の伝統文化の継承が、自律的な文化活動を確立させる。</p>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
観覧者数		12,389人	12,389人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	-	29,826千円	64,929千円	4,792千円	38,956千円
指標①目標		-	9,505	-	12,389
指標①実績		9,505	12,389	-	(推計値) -
指標①達成率		-	130%	-	(推計値) -

(前年度の成果)

令和3年度に開催される「第3回ぎふ美術展」の作品募集の広報を行った。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
応募作品数及び来場者数の更なる増加のため、効率的かつ効果的な広報を行う。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い	
(評価)	県民からのニーズが高く、他県状況等から勘案しても、県が関与し、事業実施することが必要。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計813件の応募があった。来館者数は12,389人となり、前回を上回る結果となった。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある	
(評価) ○	審査員の人数や審査会の進行等、旧県展からの見直しを図り、事業の効率化に努めた。

(事業の見直し検討)

芸術活動に取り組む県民に広く発表の機会を提供し、県民の想像力、鑑賞力の向上を目指すことで、岐阜県の文化振興に寄与する事業として継続が妥当である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)